



公益財団法人 加古川総合保健センター
Kakogawa General Health Care Center

保健センター検査課だより



黄菖蒲（撮影地：日岡山公園）

アヤメ科の多年草。原産地はヨーロッパ、地中海沿岸。季節は4～6月。
花言葉は、**幸せをつかむ、信じる者の幸福、私は燃えている、消息、友情**です。

～B型、C型肝炎と肝癌～



加古川総合保健センター
検査検体部会 委員
中田医院 院長
中田邦也 医師

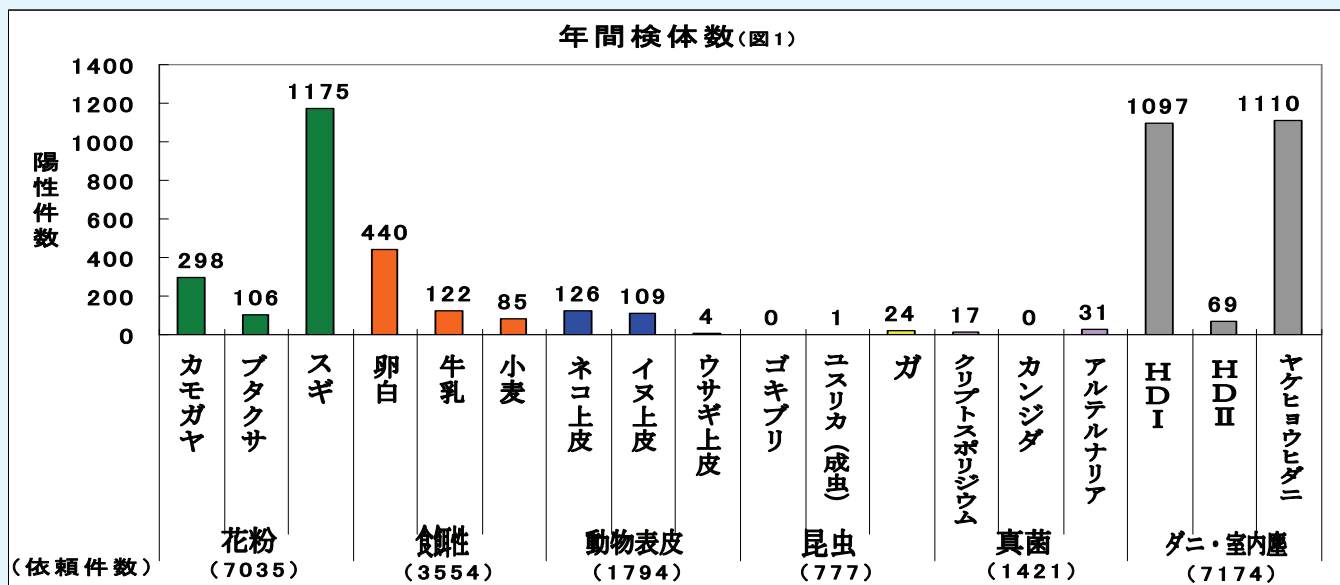
肝硬変、肝癌の約80%はC型肝炎、約15%はB型肝炎によるものです。B型肝炎の人は1000人当たり7人、C型肝炎の人は1000人当たり20人の割合で肝癌が発生します。その他の肝炎やアルコール、脂肪肝から起こる肝癌はごくわずかです。したがって肝癌にならないようにするためにはウイルス性肝炎のB型、C型肝炎を治療することが重要になるのです。

最近ウイルス性肝炎の治療分野での目覚ましい発展があり、新しいインターフェロンの開発や抗ウイルス剤の開発がありました。これらの薬剤の開発によりC型肝炎ではいままで治療で治らなかった人たちもほとんどが完治できるようになりました。B型肝炎でもウイルス増殖を抑える経口剤（飲み薬）が開発され、肝硬変への進行を遅らせウイルスの増殖を抑制することができるようになりました。

これらの治療により肝炎の進行を遅らせ、肝癌の発生を抑えることができるようになりましたが、B型・C型肝炎にかかっているにもかかわらず自覚症状が全くないため、診断されていない人や医療機関にかかっている人がまだまだたくさんいます。最近では早期発見、早期治療を自己負担が少なくできるような助成制度ができていますので、肝機能異常のある方は精密検査をお勧めください。

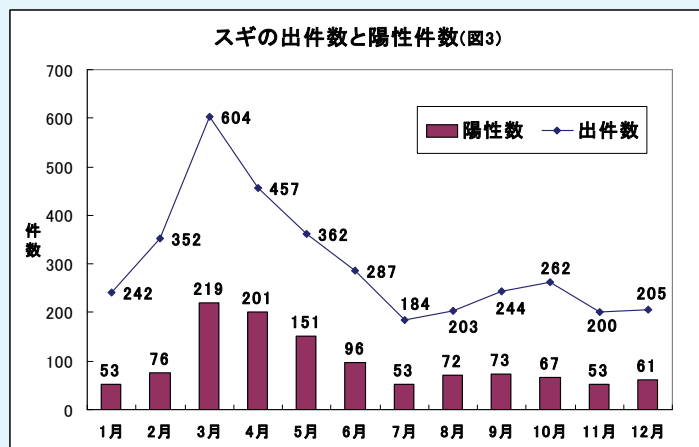
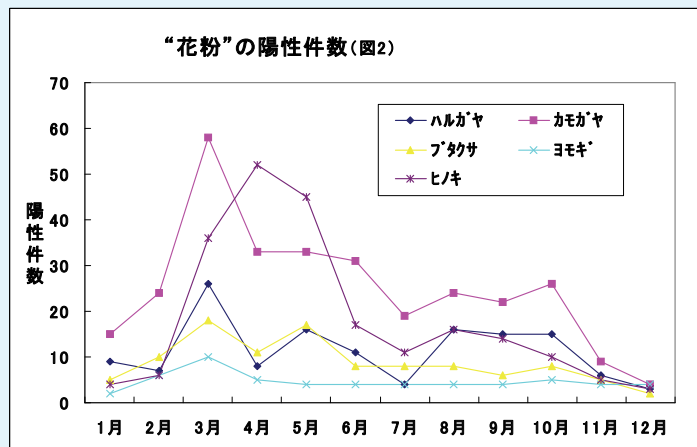
2011年（1月～12月）に当センターへ依頼のあったアレルギー検査項目で、各群の上位3項目についての依頼件数と、明らかな陽性（クラス3以上）となった項目をグラフに表しました（図1）。

依頼件数の上位では、特にスギ花粉、HD（ハウスダスト）I、ヤケヒョウヒダニについて陽性件数が他項目に比べ突出して高かったことが分かります。



更に、季節性アレルギーである“花粉”のみで見ると、飛散時期が1～4月のスギやヒノキ、4～9月のハルガヤやカモガヤ、8～11月のブタクサやヨモギが、その時期に陽性件数が高くなっているのが分かります。（図2）

特に、“スギ”は依頼件数・陽性件数共に飛散時期には突出して高くなることが分かります。また、年間を通して3～4人に1人の割合でアレルギー反応が出ていることが分かりました。（図3）



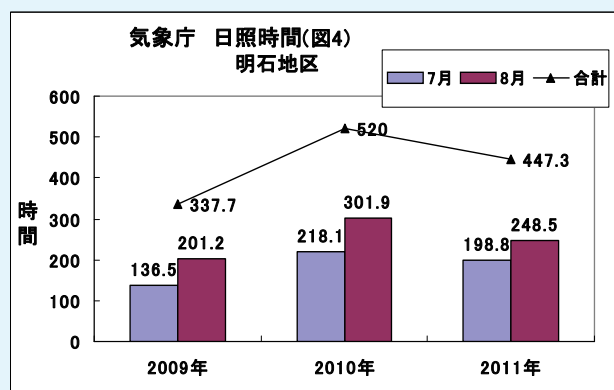
●スギ花粉の飛散状況を知るには●

スギ花粉の飛散状況は、前年度7～8月の日照量が多いほど花粉が増えると言われ、また1月の気温が高いほど早く飛散が始まります。

気象庁の調べによると明石地区の2009年、2010年、2011年の7～8月の日照時間は順に337.7時間、520時間、447.3時間で2012年は2011年よりもスギ花粉の症状は穏やかであると予測されていましたが、事実今年のスギ花粉の飛散は例年に比べ、少なかったようです。（図4）

●花粉が大量に飛散する条件●

- ・晴れて気温の高い日
- ・風が強い日
- ・空気が乾燥している日
- ・雨上がりの翌日



●自分でできる花粉症のセルフケア●

外出時のマスク、メガネなどを着用し、原因となる花粉を少しでも体内に入れないことが重要です。花粉症専用のマスク着用では約1/6に、メガネ着用では約1/4に花粉量が減少することがわかっています。

また、帰宅時の“うがい”や“洗顔”をこまめに行い、花粉症状を悪化させると言われている因子である“ストレス”、“睡眠不足”、“飲み過ぎ”などを抑えることが必要です。

ISO15189 臨床検査室認定 活動状況報告

～ 内部監査について ～

保健センターでは、臨床検査の国際規格であるISO15189を取得し今年で4年が経過しました。

ISO15189の要求事項には「内部監査の実施」があります。内部監査とは「組織が運用している品質維持向上のためのシステムが有効に実施されているか」を組織自身によってチェックする作業のことを言います。

当センターでも内部監査の実施手順や監査員（監査を行う資格を有する要員）についてを文書で定めると同時に、年間監査計画を立て、職員による監査チーム（3名/チーム）を編成し、被監査部門の業務が決められた手順に沿って実施され、品質が保たれているか等について年に4回監査を実施しています。また、この内部監査によって指摘された不適合（ルールに合っていないこと）については、概ね1ヶ月以内に改善することになっています。

内部監査活動により『継続的な品質の監視と改善』を行い精度維持に繋がっています。



【2011年度 第4回 内部監査 風景】
被監査部門：生化学・血液・免疫部門

ISO15189 検査部長 高石和子

ほっとコーナー

”危険なカビ、おいしいカビ”

カビ 実はすごい!?

食べ物の腐敗や異臭を放ち、ときに食中毒を引き起こす悪いカビもいれば、チーズやお酒などの食品作りに欠かせない良いカビもいることは皆さんご存知だと思います。でも正反対の作用を引き起こすカビですが実は同じ種類のカビだにご存知でしたか？食品汚染で問題となる主な原因カビにPenicillium(アオカビ)、Aspergillus(コウジカビ)があります。

しかしながら、アオカビは主にチーズの熟成に利用されており、ブルーチーズの青緑色はアオカビの色です。ここでのカビの働きは、カビが持つグルコアミラーゼという酵素によってデンプンをブドウ糖まで分解してくれます。日本酒の醸造にはコウジカビが利用されています。コウジカビはデンプンをブドウ糖に分解する酵素を持ち、さらにこのブドウ糖が酵母の働きでアルコールになります。

また、コウジカビは大豆などに含まれる蛋白質を分解して、旨みのもとになるアミノ酸やペプチドを作り味噌や醤油の醸造に役立っています。

さらには、腸の調子が悪いときや暴飲暴食をしたときに消化を助けてくれる消化剤（酵素）もまたカビを培養して製造されています。カビがなくては作れない食品等がまだまだたくさんあります。

この機会にカビについて興味をもってみませんか？



【ブルーチーズ】

引用サイト：カビで作られる食品、 google(画像)

◆ H23年度 臨床検査精度管理調査 参加結果について

検査課では下記のように各種外部精度管理調査に積極的に参加し日々精度の維持に努めています。今後も現状の精度を維持し、質の向上とサービスに一層の努力をいたします。

外部精度管理調査名	主催	参加項目	評価評点
第45回臨床検査精度管理調査	日本医師会	生化学、免疫学、血液学	評価 100点
H23年度日本臨床衛生検査精度管理調査	日本臨床衛生検査技師会	生化学、免疫、血液、微生物、輸血、細胞診、一般検査、遺伝子、生理	評価 99.5 %
第25回 有機溶剤に係る生体試料検査に関する 精度管理調査	全国労働衛生団体連合会	有機溶剤・鉛	評価 A
第20回全衛連臨床検査精度管理調査	全国労働衛生団体連合会	生化学、血液学、尿一般	評価評点 97.4点 評価 A
第31回兵庫県臨床検査精度管理調査	兵庫県臨床検査技師会	生化学、免疫学、血液学、一般検査、微生物、細胞診、輸血	評価 A (良好)

質問コーナー

医療機関様よりの日々のお問い合わせの中から、頻度の多いものなどを厳選し、検査課担当者（委託先）がお答えするコーナーです。

Q1.

「エタノール」の検査は実施可能ですか？また、保険点数と診療報酬区分をお教えてください。

A1.

実施可能です。実施料（保険点数）：120点、〔新〕診療報酬区分（レセプト名）：D007 31（エタノール）です。
注. 〔旧〕診療報酬区分（レセプト名）は D007 27（アルコール）です

Q2.

「麻疹ウイルスIgG（EIA）」の判定値（-、±、+）より、抗体の有・無の判断基準をお教えてください。また、ワクチン接種の基準もお教えてください。

A2.

抗体（+）の判断基準はEIA価で“4.0以上”ですが、“6.0以上”とされる医師もあるそうです。また、ワクチン接種の基準については、抗体（±）の場合、抗体価が低いと判断され、接種対象としてもよいそうです。
(株SRLへの問い合わせ結果より)

Q3.

“肺炎”の経過を診るための、感度・特異度のよい検査項目はありますか？

A3.

「AMYアイソザイム」を実施後、「P型アミラーゼ定量」、「リパーゼ」、「腓ホスホリパーゼ」などの検査を実施し経過観察されることを推奨します。

(株SRLへの問い合わせ結果より)

編集後記

今回はアレルギーを特集してみました。内容のほうはいかがでしたでしょうか？斯く言う私も長年アレルギー性鼻炎で苦しんでおります。症状は三者三様ではあると思いますが、防御策の基本はやはり“マスク”だと実感しております。また、私自身最近ハマっているのが「メントール入り飴」です。舐めると鼻へス〜ッと抜ける感じがたまりません。よければ皆様も一度試してみてください。さて、今年の4月は“診療報酬の改定”や“HbA1cの国際標準化”などがあり、各医療機関の先生方やスタッフの皆様方にはご迷惑をお掛けしたかもしれません。この場を借りお詫び申し上げます。今後も検査事業に関して、ご不明な点がございましたら何なりとお問い合わせください。

(編集委員一同)

加古川総合保健センター 検査課だより に対するご意見・ご要望をお寄せください。

お問い合わせ：〒675-0196 加古川市平岡町新在家鶴池の内1224の12

TEL 429-2200 FAX 429-6500 E-mail: takaishi_hkc@knc.kakogawa.or.jp